東京23区探索徒歩の旅

【23】港区

2014年11月29日（土）

【1】	はじめに	1月 1日（水）
【2】	足立区	2月 1日（日）
【3】	荒川区	3月23日（日）
【4】	板橋区	3月30日（日）
【5】	江戸川区	4月19日（土）
【6】	大田区	4月27日（土）
【7】	葛飾区	5月31日（土）
【8】	北区	4月29日（火）
【9】	江東区	5月 2日（金）
【10】	品川区	5月 4日（日）
【11】	渋谷区	6月14日（土）
【12】	新宿区	6月21日（土）
【13】	杉並区	7月19日（土）
【14】	墨田区	7月27日（日）
【15】	世田谷区	8月 9日（土）
【16】	台東区	8月13日（水）
【17】	中央区	8月30日（土）
【18】	千代田区	9月 6日（土）
【19】	豊島区	9月28日（日）
【20】	中野区	10月21日（火）
【21】	練馬区	10月25日（土）
【22】	文京区	11月23日（日）
【23】	**港区**	**11月29日（土）**
【24】	目黒区	12月

1．旅前の港区の印象

東京、港区。青山、赤坂、六本木、そして、麻布、高輪、白金台。なんと響きの良いことか。憬れの街～。増上寺、泉岳寺、赤坂御苑。魅力的な場所。東京ラプソディー、素敵な旅が始まる。

2.港区紹介

企業が本社を最も多く構える区の一つであり、いわば日本のビジネスの中心である。
特に、虎ノ門・新橋・芝をはじめとしたオフィス街では、経済活動が非常に活発である。青山・赤坂などの商業エリアや、六本木などの歓楽街、麻布・白金台などの住宅街、汐留・台場などの大規模開発地区があり、さまざまな表情をもっている。東宮御所・迎賓館（赤坂離宮）をはじめとして芝公園・白金台の自然教育園など緑地帯が豊富な自然環境である。
駐日大使館や外資系企業も数多く立地しており、外国人居住者も人口の約1割を占める。江戸時代は広大な武家屋敷と町人町が存在する街で、文京区と同様の混在した街であった。
1947年（昭和22年）3月15日、当時の芝区、麻布区、赤坂区が合併して港区となる。3区の合併時には各区の関係者から新しい区名案が提出されて審議が進められ、区名の案の一つに「今後の我が国の発展は貿易の振興にあるが、その素材とも言える東京港を抱合している」ことから「東港区（とうこうく）」が候補になるも「東港区」では「東京都東港区」のように似た音が重なるので「東」の一字を除いて「港区」になった。

3. 今回の港区徒歩の旅

1）ルートと全体概要

（1）往路

大月駅 → （中央本線） → 東京駅 → （山手線） → 新橋駅

（2）徒歩の旅

新橋駅 → 塩竈神社 → 鳥森神社 → 日比谷神社 → 旧新橋停車場 →
旧芝離宮恩賜庭園 → 浜松町駅 → 芝公園 → 増上寺 → 芝大神宮 → 愛宕神社 →
東京タワー → 麻布十番街 → 六本木ヒルズ → 東京ミッドタウン → 檜町公園 →
赤坂氷川神社 → 赤坂サカス → 赤坂御苑 → 神宮外苑イチョウ並木 → 青山 →
セントグレース大聖堂 → 根津美術館 → 岡本太郎記念館 → 有栖川記念公園 →
広尾駅 → 後楽園駅 → 東京ドーム（EXLE コンサート） → 水道橋駅

（3）復路

水道橋駅 → （中央本線） → 大月駅

2）徒歩の旅　ドキュメント
5時36分
起床。
曇、今にも雨が降りそうである。
実は、小生、まだ、酔っぱらっている。
昨日は、帰宅電車の中で、濱野屋（家内のパート先）
女子会ゲスト出演の御呼出し有。
最初は借りてきた猫状態、その後、御機嫌主役モード。
二次会まで行って、超盛上がり。帰って来たのは、御前様。
ま、家内も同伴だし、楽しかったので良しとしよう。

酔っ払いながら、今日は東京23区徒歩の旅の22回目、港区に行く。

東京23区徒歩の旅もいよいよ終盤になってきた。
気合を入れて頑張ろう。

今日の夕方は、後楽園での　EXILE TRIBE　コンサート（4時間）
に家内と娘と行く予定である。

朝食は、ヨーグルトとトマトジュースのみ。
いつもの様に大月駅まで青い折笠プリウスαで送って貰う。
16時半、東京ドームで会いましょう。

6時00分
快速東京行発車。
コーヒーを飲んで、目覚めよ、この頭。この体。
パソコンデータ整理で復活中。

7時55分
新橋駅鳥森口。
ガード下の飲み屋街、この雑然として雰囲気好きです。

日比谷口にいくと、C11蒸気機関車が堂々と止まっている。
上を見上げると「角ハイボールがお好きでしょ。」
思わず「好きですよ。」と言ってもうた。
C11とハイボール、新橋らしくてたいへん良い。
EXILE TRIBEコンサートには、ハイボールを持参することにする。

8時10分
新橋の街中を行く。
塩竈（しおがま）神社着。
猫ちゃんが出迎えてくれた。
寂れた感じでちょっと寂しい。
ここは、東京日野本社のすぐそば。

次に烏森神社。
飲み屋街の中にある。
ここは、コンクリート建屋できれいで
近代的である。
でも、とても神々しい雰囲気を
持っている。

新橋駅烏森口

C11蒸気機関車と角ハイボールポスター

塩竈神社と猫ちゃん

近代的な烏森神社

特に新橋駅に戻り、汐留方面に向かう。
旧新橋停車場着。
とても良い雰囲気の建物。

旧新橋停車場

先ずは鉄道唱歌♪
『汽笛一声（いっせい）新橋を
はや我（わが）汽車は離れたり
愛宕（あたご）の山に入りのこる
月を旅路の友として』

日本の鉄道開業は、日本初の鉄道路線である新橋駅－横浜駅（現桜木町駅）間が、明治5年9月12日（1872年10月14日）に開業。
5年前は江戸時代、日本の国力と実行力に脱帽。

線路の幅は、現代と同じっぽい。

近くに超近代的なビル BiCE TOKYO。
その脇をゆりかもめが行く。
近未来的な光景。すごい発展性を持っている。
汐留地区は21世紀ゾーンである。

BiCE TOKYO

8時50分
新幹線のガードを潜ると日比谷神社。
都会の中の小さな神社。
新橋の鎮守様として、400年の歴史を持つそうだ。
元は日比谷公園内にあったそうだが、江戸城拡張にともない、今の新橋の地に移転したそうだ。

ここから、線路沿の道を浜松町駅に向かう。

小さな神社 日比谷神社

JRAビルと新幹線と紅葉。
絵になるなあ。

都会の黄色の枯れ葉道を行く。

9時07分
旧芝離宮恩賜庭園着。
『旧芝離宮恩賜庭園は、東京都港区海岸にある都立庭園。
大久保忠朝上屋敷の庭園楽寿園が始まりで、宮内庁管理の離宮を経て、大正13年（1924年）東京市に下賜され、旧芝離宮恩賜庭園として公開された。』

門から中を観る、良さげな庭園である。
今日は、外から観るだけよ～。
あんたも好きねえ～。

JRAビルと新幹線と紅葉

都会の黄色の枯れ葉道

旧芝離宮恩賜庭園

9時11分
ま直ぐ行くと浜松町駅。
御無沙汰です。
ここは、東京モノレールの発着駅。
よく来る所です。

浜松町駅

大門駅近くの焼き鳥屋 ”秋田屋”
懐かしい～。

焼き鳥屋 秋田屋

今は昔、自動車工業会のホイールボルト
分科会のリーダーだった頃、会議の後の
飲み会開始の時間を決めてから、本会議
を開始していた。
まとめ終盤では、一週間に二回程開催。

”秋田屋”には、必ず二次会で寄っていた。
ここのおばさん、我ら酔っ払いには、二合徳利を頼んでも、
一合徳利しか出してくれなかった。でも優しかった。

これらによって得られた事は、ディーゼル4社の会社を超えた
今でも付き合っている友人ができた事と大型車のホィールボルトを
JISタイプからISOタイプに変更（関係者は改革と呼んでいる）
できた事である。

小生にとっては、人生の宝であり、技術者冥利に尽きる事である。

東京タワーに接近中

9時24分
東京タワーに接近中。

芝東照宮着。
ここで紹介。
『芝公園の一角にあり、元来は増上寺内の社殿であった。
徳川家康が慶長6年（1601年）に還暦を迎えた記念に
自らの像を刻ませた「寿像」を、自身が駿府城に於いて
祭祀していた。
元和2年（1616年）家康は死去に際して「寿像」を祭祀する
社殿を増上寺に建造するよう遺言した。同年10月に着工し
翌元和3年（1617年）2月に竣工した。
この社殿は家康の法名「安国院殿徳蓮社崇誉道大居士」
より「安国殿」と呼ばれた。これが芝東照宮の起源である。』

芝東照宮の鳥居

日光東照宮、久能山東照宮、上野東照宮と並ぶ四大東照宮の一つ。
家康公の偉さを知る。

家康を祀る本殿

芝公園。
芝は枯れている。
明治6年に開園した、日本最も古い公園の一つ。
東京タワーは、やっぱ美しい。

旧台徳院霊廟総門。
『台徳院霊廟は、江戸幕府二代将軍徳川秀忠の霊廟建築。
芝増上寺に造営された。
江戸時代初期を代表するの豪華な彫刻で飾られ東京を代表する
観光地として知られていたが、東京大空襲で焼失した。
惣門のみが芝公園に残っている。』

旧台徳院霊廟総門

増上寺。
徳川家の菩提寺として栄えた寺で、徳川15台将軍の内、
6人の墓所がある。
ここで紹介
『空海の弟子・宗叡が武蔵国貝塚（今の千代田区麹町・紀尾井町
あたり）に建立した光明寺が増上寺の前身だという。
その後、室町時代の明徳4年（1393年）、酉誉聖聡の時、真言宗
から浄土宗に改宗した。この聖聡が、実質上の開基といえる。
中世以降、徳川家の菩提寺となるまでの歴史は必ずしも明らかで
ないが、通説では天正18年（1590年）、徳川家康が江戸入府の折、
たまたま増上寺の前を通りかかり、源誉存応上人と対面したのが
菩提寺となるきっかけだったという。
貝塚から、一時日比谷へ移った増上寺は、江戸城の拡張に伴い、
慶長3年（1598年）、家康によって現在地の芝へ移された。
風水学的には、寛永寺を江戸の鬼門である上野に配し、裏鬼門の
芝の抑えに増上寺を移したものと考えられる。
また、徳川家の菩提寺であるとともに、檀林（学問所及び養成所）が
おかれ、関東十八檀林の筆頭となった。』

増上寺の立派な三解説門

増上寺と東京タワー

大殿（本堂）は昭和46年に4年かけて建てられた。
三解説門は国の重要文化財である。

聖勧説菩薩のその下で祈る女性が印象的だった。

聖観設菩薩と祈る女性

増上寺大門。
これがこの地が大門と呼ばれる所以である。
その横に、粋なかわら（瓦）のかわや（厠）がある。
神々しくて、入れんかった。

増上寺大門と厠

芝大神宮
『もともとは、単に「神明」あるいは「神明宮」と称していたが、
武蔵国日比谷郷に鎮座していたことから「日比谷神明
（日比谷神明宮）」と、また飯倉御厨（後の武蔵国飯倉庄）に
鎮座していたことから、「飯倉神明（飯倉神明宮）」と、
さらに芝の地に住民が居留して町の様相を呈するに及び
「芝神明（芝神明宮）」とも称されるに至った。
また別に、伊勢神宮の内外両宮の祭神を祀ることから、
関東における伊勢信仰の中心的な役割を担い、
「関東のお伊勢様」とも尊称された。明治維新にあたり、
政府の教部省、太政官正院並びに東京府の許可のもと、
明治5年8月30日（1872年10月2日）より、現今の神社名
である「芝大神宮」を称す。』

女の神宮様が神々しく歩かれていた。

芝大神宮と女の神宮様

大都会の中の木造住宅あり。
なにかホッとする場所である。
石川様のお宅です。
ここは、芝大門一丁目。

大都会の中の木造住宅

東京プリンスホテル。
実は、小生、ここで結婚式を挙げました。
昔と変わらない建物に感動。

東京プリンスホテル

青竜寺。もみじがほんと綺麗。

青竜寺ともみじ

これが有名な愛宕トンネルだ。

愛宕トンネル

愛宕山の愛宕神社下に到着。
しかし、階段がきつそうだなあ。
”出世の石段”というそうだ。
ヒィーヒィー登る　出世するのも
たいへんだ。
８５段、一段一段がきつい。
途中、高所恐怖症の小生は、絶対下を見なかった。
登り終わって下を見た時、足がすくんでしまった。

愛宕神社着。
『山城・丹波国境の愛宕山（標高924m）山頂に鎮座する。
　古くより比叡山と共に信仰を集め、神仏習合時代は
　愛宕権現を祀る白雲寺として知られた。』

ところで、帰りも階段を使うのか？
ゾォ～。
大丈夫、頂上に車があるので車道があるはずだ。
助かった。

愛宕山のきつい階段

ところでこの建物は何？
NHK放送博物館。
『NHK発祥の地である愛宕山に世界初の放送専門博物館
　として1956年（昭和31年）に開館。
　開館当時は東京放送局の局舎を使用していた。
　現在の塔屋付4階建てビルは1968年（昭和43年）に新築された
　もので、当時使われていた建物は現存しない。』

軍師官兵衛のポストカードをいただいて大満足。
小生、NHK大河ドラマの大ファンである。

愛宕神社

NHK放送博物館

東京タワー到着。
見上げると迫力満点。
この偉大な建物を昭和33年（1958年）戦後13年で
建ててしまった日本人の行動力と努力を誇りに思う。
日本人に生まれて良かった。

迫力満点　東京タワー

マスコット　ノッポン

この写真を見よ。
ほとんど手造りである。
命綱もしていない。
写真を見ただけで下半身がもぞもぞしてきた。

想いを馳せながら、お茶とドーナッツで休憩。
改めて東京タワーを紹介。
『東京タワーは、東京都港区芝公園にある
集約電波塔である。
1958年10月14日竣工、同年12月23日に
完工式が開かれた。
東京のシンボル・観光名所として知られる。
正式名称は日本電波塔。
高さは333mと広報されており（より正確には
332.6m、海抜351m）、塔脚の間隔は88.0m。
総工費約30億円、1年半（1,974,015時間
/543日間）と延べ219,335人の人員を要して
完成した。
地上125m（海抜約150m）と223.55m（海抜
約250m）に展望台を有したトラス構造の
電波塔である。』

手造りの東京タワー

１１時０４分
雨の中、出発。

１１時１８分
東京タワー廻りを歩き、赤羽橋古川通過。

赤羽橋付近

１１時３７分
麻布十番街。
雨の麻布、お洒落なお店が多い。
道行く人もお上品な方々。外人も多い。
ウインドショッピングもこれまた楽し。

麻布十番街

１１時５０分
憧れの六本木着。
ここで紹介。
『国際色豊かな街として知られた六本木は、都市再開発事業により
めまぐるしい粋勢いで進化を遂げている。職、住、遊、憩などの
機能を集約した複合都市として平成１５年（２００３年）に六本木ヒルズ
平成１９年に東京ミッドタウンオープンすると、新しい情報や文化の
発祥の地都市て大きく注目を集め、東京を象徴する存在となっている。』

憧れの六本木

六本木ヒルズ入口着。
オフィスや住宅、商業施設のほか、
美術館や映画館などの娯楽施設も充実。
野外イベントスペースもありメデイアも
注目するさまざまな催しが行われる。

IT関連の会社に打合せで来たことがあった。
中は超近代的であった。
思わず、田舎のビジネスマンはキョロキョロ
してしまった。

六本木ズヒルズ　けやき坂通り

六本木ヒルズ　本体

毛利庭園。毛利家上屋敷跡に
造られた四季の移ろいを感じる
回遊式日本庭園である。

六本木交差点

毛利庭園

12時12分
六本木交差点。
雨のため、人はまばら。
でもお洒落な外人や日本人が多い。

東京ミッドタウン。
ここで紹介。
『防衛庁跡地に造られた巨大な複合施設。
昨日的なオフィスやホテル、美術館、話題の
ショップやレストランなどがあり、目的に応じて
使うことができる。建物の周囲に広がる自然
豊かな公園にはアート作品が点在。
憩いの場となっている。』

如何にも、近未来的東京という感じ。

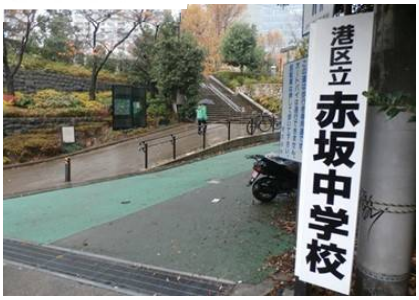
東京ミッドタウン

12寺25分
檜町公園。都心とは思えない、
風情があってたいへん良い。

赤坂中学校。
東京のど真中の中学校。
ここは赤坂9丁目。

これはきつい坂。
坂の上は赤坂9丁目。

檜超公園

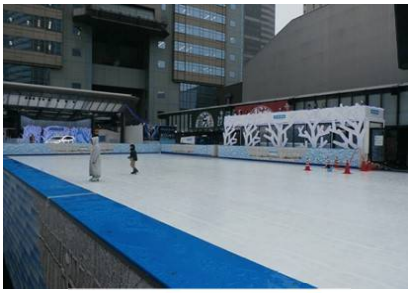


東京のど真中の中学校

赤坂サカス。
ここで紹介。
『TBS放送センターや赤坂BLITZ、赤坂ACT
シアターなどのエンターテイメント性が高い
大型施設が集まる。ショップやレストラン、
イベントスペースも充実している。』

TBSの建物が未来的。
その隣に何故かスケートリンク。

赤坂サカスのTBS


何故かスケートリンク

ここで中国麺で有名な揚州商人へ。
プレミアムスタミナラーメン大盛り　￥1210＋￥150
玉子、椎茸、牛肉、竹の子、白髭ねぎ、高級黒酢。
これは美味い。美味、美味。酢が絶妙な味。
コスト/フォーマンス十分。

プレミアムスタミナラーメン大盛り

13時27分
赤坂見附をみつけ　た。
緑とビルがベストマッチング。

ホテルニューオオタニが雨に煙っている。

赤坂見附

ホテルニューオオタニ

13時39分
赤坂迎賓館。
日本を代表する宴会場。
『皇居宮殿での歓迎晩餐会の答礼など、外交儀礼のための接宴として、天皇や皇族などが臨席し、晩餐会が行なわれることもある。迎賓館の建物は、東宮御所として1909年（明治42年）に建設された。

赤坂迎賓館

秋の深まる道も良いもんだ。
明治記念館通過。
ここで、小生の兄が結婚式をあげた。

明治記念館

14時00分
神宮外苑でいちょう祭りが実施されていた。
屋台で多くの人だかり。
神宮外苑のいちょう並木がお見事。

神宮外苑のいちょう並木

14時14分
青山2丁目、お上品。
ハンガリーから寄贈された幸福のモニュメント”街の音楽”
何かこう、哀愁があって、心に浸みる。

幸福のモニュメント　”街の音楽”

14時40分
表参道は相変わらず混んでいる。
渋谷区との国境を歩く。

表参道

セントグレース大聖堂着。
『青山セントグレース大聖堂は、東京都港区北青山にある結婚式場である。大聖堂と名乗っているが、キリスト教の宗教施設ではなく、従ってなんらの宗教活動も行っておらず、結婚式・披露宴専用の疑似教会堂（いわゆるウェディングチャペル）である。』

是非、訪れたい場所だった。
なんと、そうだったのかあ。ちょっとがっかり。

セントグレース大聖堂

この建物、強度は大丈夫か？
ガラスも強度部材にしているのか。
横方向の強度はどうしているのか？
FEMを駆使しているに違いない。

不思議な構造の建物

根津美術館

１５時００分
根津美術館
『東武鉄道の社長などを務めた、実業家で茶人の初代・根津嘉一郎の収集品を展示するためにつくられた美術館で、1941年（昭和16年）に開館した。
藤井斉成会有鄰館、大倉集古館、白鶴美術館、大原美術館などとともに、第二次世界大戦以前からの歴史をもつ、日本では数少ない美術館のひとつである。』
超日本的ですばらしい。

Blue Note Tokyo JAZZ

Blue Note Tokyo JAZZ
ブルーノート（英語：Blue Note）は、アメリカ合衆国ニューヨークのグリニッジ・ヴィレッジにあるジャズ・クラブ。
1981年に開業した。日本とイタリアにチェーン展開をしている。
なお、ブルーノート・レコードとは直接的な関係はない。

中年（自分もしうだが）の御夫婦が、懐かしそうに中を覗き込んでいた。

岡本太郎記念館

岡本太郎記念館
岡本太郎記念館（は、東京・青山にある美術館である。芸術家・岡本太郎がその父・岡本一平から相続して自宅兼アトリエとして使用していた南青山の資産を記念館としている。
芸術は爆発だ！

有栖川宮記念公園

広尾駅

１５時２５分
有栖川宮記念公園。
都心には稀な閑雅な地であり、園内は起伏に富み、東側の高台から西南側の低地に向けて大きく傾斜した地形となっている。

いよいよゴールが近くなってきた。

１５時４０分
地下鉄日比谷線　広尾駅。ゴール。
今日も良く歩いた。

総走行時間：7時間45分
総走行距離：28km

東京を十分堪能したって感じだ。
東京青山・赤坂・六本木　超近代的なモダンな街。
新橋・浜松町　庶民的な街。
東京タワー　いつ見ても美しい形をしており、東京
の象徴。
港区は、近未来の日本のあるべき姿を示した所である。
さて、広尾駅から地下鉄日比谷線、丸ノ内線を乗り継いで後楽園駅へ。
16時30分
先ずは、近くのコンビニで、ビール、ハイボール、酎ハイと
おつまみを確保。
家内と待ち合わせて、東京ドームへ出陣。
開演前から既に凄い盛り上がり。

17時00分
会場が暗くなり、いよいよコンサートスタート。

EXILE TRIBE（一族）が総出演
EXILE
三代目J Soul Brothers7人
GENERATIONS7人
劇団EXILE
EXPG」(養成所の生徒)
E-ガールズ

4時間半、長いと感じさせない素晴らしいコンサートだった。

興奮し過ぎてお腹がペコペコ。
今日頑張ったお父さんにお寿司をプレゼント。

最後に、3.11後、東北の皆さんのために作られたという歌
”Rising Sun”を紹介したい。

この詩で、自分も元気を取り戻したいと思う。

『So, Rising Sun 陽はまたのぼってゆく

So, Rising Sun 夜明けはそばに来てる
・・・・
So, Rise, Rising Sun

その光がここから どこまでも広がってく・・・・
So, Rise, Rising Sun 』

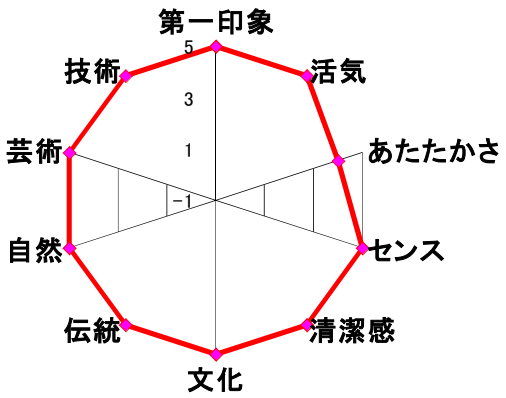
陽はまたのぼってゆく・・・
皆さん、頑張りましょうね！

4. 旅後の港区の印象

1）評価

評価項目		点数
主観的評価	第一印象	5
	活気	5
	あたたかさ	4
	センス	5
	清潔感	5
客観的評価	文化	5
	伝統	5
	自然	5
	芸術	5
	技術	5
合計		49

港区
合計49点



点数
5：良い：
4：まあ良い
3：普通
2：あまり良くない
1：悪い

２）全体を通し
港区の魅力的な所であった。
全ての街が個性的で存在感がある。
活動的な街、活気に満ちている。
今までにない感動を小生に与えてくれた。
港区、やはり小生にとっては憧れの地である。

５.自身思っていることに対するフィードバック
（１）２３区/年の徒歩の旅は、回数的にも大きなチャレンジとなる
→今回で22区目、残１区、もう一息まで来た
（２）最新のモバイルパソコン導入により移動中の生情報ブログ作成にチャレンジする
→電車の中及びで、カフェテリアでのバイルパソコンは大活躍
（３）有言実行、周りにやるぞと言ってしまった、もう逃げられない
→残り１区が終わるまでは、有言実行ではない
（４）田舎のおじさんは少しは都会的センスが磨かれるだべか
→港区ですっかり都会派となった
（５）自分なりの日本の心を構築していく
→十分、構築できている